



## 平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ウイズ  
コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井昭裕  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	1,292	△23.1	△151	—	△147	—	△194	—
23年5月期第3四半期	1,681	△16.6	△177	—	△171	—	△170	—

(注) 包括利益 24年5月期第3四半期 △197百万円 (—%) 23年5月期第3四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	△6,303.53	—
23年5月期第3四半期	△5,520.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	2,556	1,374	53.8
23年5月期	2,664	1,571	59.0

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 1,374百万円 23年5月期 1,571百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	△20.1	△170	—	△170	—	△190	—	△6,165.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期3Q	30,816 株	23年5月期	30,816 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期3Q	— 株	23年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期3Q	30,816 株	23年5月期3Q	30,816 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響及びタイの洪水被害等による影響からは回復しつつあり、今後の復興需要等への期待感もありますが、中国の経済成長の鈍化や欧州諸国の財政問題に加え、円高の状態が継続している等、依然として先行き不透明な状態であります。

このような状況のもと、玩具業界全体では前年同期に比較して堅調に推移しているものの、国内の雇用状況及び所得環境は、依然として低調であり、また、現在当該業界における売れ筋商品シリーズ等は、一部に集中しているため、全体的には厳しい経営環境となっております。

当社グループは、厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減を継続し、その上で基幹事業であるOEM製品販売の拡大とオリジナル商品販売及び海外販売の基盤の確立を目指しております。

OEM製品販売は、当第3四半期連結累計期間を通して、「Tamagotchi iD L (たまごっちアイディーエル)」シリーズ製品及び「スイートプリキュア♪」シリーズ関連製品は堅調に推移しました。また、本年2月に放映を開始したプリキュアの新シリーズである「スマイルプリキュア！」シリーズ関連製品である「おみみクルクル おしゃれキャンディ！」等の納品を開始しました。

しかしながら、成長重点項目であるオリジナル商品販売は、当期における主力商品群2種のうち「東京スカイツリー (R) バンク634」は引き続き堅調な販売を継続しておりますが、昨年9月より順次発売を開始したスマートフォン等の最新デバイスに連動した「appLism (アプリズム)」シリーズの売上高が当初の販売計画に対し、大幅な未達成となっております。特に期待をしていたクリスマス及び正月商戦において想定を大幅に下回る結果となったため、その後、当該商品シリーズの販促活動をより積極的に展開しましたが、第3四半期連結会計期間を通じて当該販売状況は低調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主としてオリジナル商品販売の販売不振の影響により12億92百万円（前年同期比23.1%減）となりました。なお、当該売上高は、全ておもちゃ事業におけるものであります。

利益面においては、売上高は減少しておりますが、生産面でのコストダウン及び固定費の削減等に努めたことにより、営業損失1億51百万円（前年同期は1億77百万円の営業損失）、経常損失1億47百万円（前年同期は1億71百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は、本社移転に係る費用として特別損失46百万円等を計上したことに伴い、1億94百万円（前年同期は1億70百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億8百万円減少し、25億56百万円となりました。これは、主に現金及び預金が57百万円、商品及び製品が26百万円、仕掛品が19百万円、原材料及び貯蔵品が15百万円増加しましたが、売上高の減少により受取手形及び売掛金が2億34百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ88百万円増加し、11億82百万円となりました。これは、主に長期借入金42百万円、1年内返済予定の長期借入金35百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億97百万円減少し、13億74百万円となりました。これは、主に当第3四半期連結累計期間の四半期純損失計上による利益剰余金の減少1億94百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月27日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、その後の主力オリジナル商品の販売動向の他、現時点で入手可能な情報に基づき修正を行いました。詳細は、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても営業損失1億51百万円、経常損失1億47百万円、四半期純損失1億94百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度まで4期連続してマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施してまいりました。

- ① 売上高の拡大
- ② 固定費の削減
- ③ 資金繰りへの対応

上記のうち「① 売上高の拡大」につきましては、OEM製品販売においては、組織体の再構築等をおこない、またオリジナル商品販売においては、スマートフォン関連商品を投入する等、それぞれ諸施策をおこなってまいりましたが、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、当初期待をしていた成果を挙げることはできておりません。

しかしながら、売上高につきましては、基幹事業である大手玩具メーカーを中心としたOEM製品販売に経営資源を集中し拡販を目指し、また、オリジナル商品販売におきましても、平成24年5月に開業予定の東京スカイツリー関連商品の本格的な展開等、流行の把握及び販売時期の判断等を従前以上に的確におこない、売上高の増加に結びつけるべく継続的に取り組んでまいります。

「② 固定費の削減」につきましては、取り組みの結果、販売費及び一般管理費は前第3四半期連結累計期間と比較し55百万円減少しておりますが、平成24年4月に実施しております本社移転により、更なる削減が見込まれる予定であります。

「③ 資金繰りへの対応」につきましては、現在の事業方針から、投資及び出資等の多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましても、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

以上により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,468	1,328,908
受取手形及び売掛金	551,354	316,418
商品及び製品	29,726	55,949
仕掛品	21,111	40,816
原材料及び貯蔵品	56,886	71,957
その他	32,076	27,484
流動資産合計	1,962,623	1,841,536
固定資産		
有形固定資産	19,964	10,273
無形固定資産	3,532	4,423
投資その他の資産		
投資有価証券	517,153	518,227
その他	161,616	181,803
投資その他の資産合計	678,769	700,031
固定資産合計	702,266	714,727
資産合計	2,664,890	2,556,264
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,357	75,298
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	215,860	251,460
賞与引当金	—	11,340
その他	70,942	63,800
流動負債合計	463,160	501,899
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	306,500	349,105
退職給付引当金	55,408	63,361
その他	3,081	2,251
固定負債合計	630,517	680,245
負債合計	1,093,677	1,182,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	439,691	245,442
株主資本合計	1,582,361	1,388,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64	△19
為替換算調整勘定	△11,084	△13,973
その他の包括利益累計額合計	△11,148	△13,992
純資産合計	1,571,213	1,374,119
負債純資産合計	2,664,890	2,556,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	1,681,211	1,292,428
売上原価	1,129,768	770,710
売上総利益	551,443	521,718
販売費及び一般管理費	728,536	673,132
営業損失(△)	△177,092	△151,413
営業外収益		
受取利息	276	258
受取配当金	2,207	414
為替差益	9,946	8,185
持分法による投資利益	—	1,029
その他	262	2,280
営業外収益合計	12,692	12,168
営業外費用		
支払利息	5,188	7,238
持分法による投資損失	1,569	—
その他	—	857
営業外費用合計	6,757	8,096
経常損失(△)	△171,157	△147,340
特別利益		
固定資産売却益	5,297	—
特別利益合計	5,297	—
特別損失		
固定資産除却損	54	—
投資有価証券売却損	594	—
事務所移転費用	—	38,871
減損損失	—	7,840
特別損失合計	648	46,711
税金等調整前四半期純損失(△)	△166,509	△194,052
法人税等	3,607	197
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△170,117	△194,249
四半期純損失(△)	△170,117	△194,249

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△170,117	△194,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	307	44
為替換算調整勘定	592	△2,888
その他の包括利益合計	899	△2,843
四半期包括利益	△169,217	△197,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,217	△197,093



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年6月1日 至平成23年2月28日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成23年6月1日 至平成24年2月29日）

当社グループは、報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。